

令和 7 年度高知県消防学校教育訓練計画
(変更版)

目 次

1	教育訓練の目的と教育方針	1
2	教育の種類及び内容	1 ～ 2
3	教育訓練計画表	3
4	教育訓練日程表	4
5	教育科目及び時間数	5 ～ 1 1

1 教育訓練の目的と教育方針

消防職員及び消防団員に対し、消防の責務を正しく認識させ、資質の向上、学術及び技能の修得並びに体力及び気力の鍛錬を図り、幅広い視野と豊かな人間感覚を持って、職務を遂行し、地域住民の信頼と期待に応え得る消防人を育成することを目的とし、次の教育方針をもってこれにあたる。

- 1 消防責務の自覚
- 2 厳正な規律と団結
- 3 心身の鍛錬
- 4 消防実務の習熟

2 教育の種類及び内容

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

新たに採用された消防職員に対し、必要な基礎実技と学術及び厳正な規律と旺盛な士気並びに体力の鍛錬を図り、公正な職務の遂行をなし得る資質を養う。

(2) 専科教育

現任の消防職員に対し、専門的な教育訓練を行う。

ア 救急科

救急隊員として必要な知識、技術を修得させ、救急隊員として活動できる職員を養成する。

イ 救助科

中止

ウ 警防科

中止

エ 予防査察科

予防査察業務に関する専門知識、技能を修得させ、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導並びに法令に基づく権限行使を行える職員を養成する。

(3) 幹部教育

幹部科

指導的立場にある消防職員に対し、幹部として必要な幅広い知識及び指揮監督能力を修得させる。

(4) 特別教育

ポンプ操法指導員講習

操法要領及び操法実技を修得させ、消防技術の向上を図る。

(5) 短期研修

ア 若年層研修

採用からおおむね3年～5年の消防職員に対し、基本的な知識、技術の学習機会及び訓練環境を提供する。

イ 火災性状指導者研修

指導的立場にある者で火災性状に関する知識を有する消防職員に対し、コンテナ施設での火災性状体験の指導方法を修得させる。

ウ 火災性状体験研修

火災性状を体験的に学習することで、火災対応力及び安全管理意識の向上を図る。

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

新任の消防団員に対し必要な基礎的知識及び技術並びに厳正な規律を修得させる。

(2) 幹部教育（指揮幹部科）

ア 現場指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、実践的訓練を中心とした教育訓練により消火・救助等の知識及び技術を修得させる。

イ 分団指揮課程

指導的立場にある消防団幹部の者に対し、分団本部等で指揮を行うために必要な知識及び技術を修得させる。

(3) 特別教育

特別（移動）教育

市町村（消防本部）の要請によって、現地に出向して教育訓練を行い、消防団員としての必要な知識及び技能を修得させる。

3 一般教育

例年開催している「一日震災訓練」は、令和7年度においては、寮棟改修工事のため、実施しない。

3 教育訓練計画表

種 別			対 象	実施予定期間	延日数	実日数	回 数	受入人員 (1回当)	研修方法
消 防 職 員	初 任 教 育		新たに採用された消防職員	令和7年4月3日～9月19日	170日	116日	1回	60人	全 寮
	専 科 教 育	救 急 科	救急業務に従事しようとする者	令和7年9月23日～11月14日	53日	37日	1回	60人	全 寮
		救 助 科	救助隊員として、基礎的な知識、技術及び体力を有し救助業務に従事している者又はその予定者(年齢は原則として上限40歳まで)	中止	-	-	-	-	-
		警 防 科	分隊(小隊)を指揮する立場の者又はその予定者	中止	-	-	-	-	-
		予 防 査 察 科	予防業務に従事している者又はその予定者	令和8年2月12日～27日	16日	11日	1回	30人	通 学
	幹部教育	幹 部 科	消防士長以上の階級にある者であって指導的立場にある者	令和8年1月20日～29日	10日	8日	1回	30人	通 学
	特別教育	ポ ン プ 操 法 指 導 員 講 習	ポンプ操法を今後指導予定の者	令和7年10月29日～31日	3 日	3 日	1回	30人	入 寮
	短 期 研 修	若 年 層 研 修	採用後おおむね3年～5年の者	令和7年6月4日～5日	2日	2日	1回	30人	入 寮
		火 災 性 状 指 導 者 研 修	指導的立場にある者で、火災性状に関する知識を有し、コンテナ施設での火災性状体験の指導予定者	A 令和 7 年10月 7 日～ 8 日	4 日	2日	1回	10人	全 寮
				B 令和 7 年11月19日		1日	1回		通 学
				C 令和 7 年12月 下記①～②より選択 ① 3 日PM ②10日PM		半日	2回		通 学
				D 令和 8 年 1 月 下記①～⑤より選択 ① 7 日 ② 8 日 ③ 9 日 ④14日 ⑤15日		半日	5回		通 学
		火 災 性 状 体 験 研	コンテナ施設での火災性状体験を体験していない者で、階級の上位者から全職員	①令和7年12月3日 ②令和7年12月10日 ③令和7年12月17日	1日	1日	3回	20人	通 学
消 防 団 員	基 礎 教 育		消防団員の階級にある者	前期 第1回 令和7年6月21日～22日 第2回 令和7年7月 5日～ 6日 第3回 令和7年7月19日～20日	4日	2日	3回	60人	現地通学
				後期 第1回 令和7年10月11日～12日 第2回 令和7年11月8日～9日		2日	2回	60人	入 寮
	幹部教育	指 揮 幹 部 科 (現 場 指 揮 課 程)	班長以上の階級にある者等	令和7年11月22日～23日	2日	2日	1回	60人	通 学
		指 揮 幹 部 科 (分 団 指 揮 課 程)		令和8年2月7日～8日	2日	2日	1回	60人	通 学
	特別教育	特 別 (移 動) 教 育	地区消防団員	随 時					

※令和7年度は、寮棟改修工事のため、令和7年11月17日以降に開講する教育訓練については、すべて「通学のみ」

4 教育訓練日程表

4月	初任教育(4/3～9/19) 入校式																															4/29代休 課業日																														
5月	初任教育(4/3～9/19)																																																													
6月	初任教育(4/3～9/19) 若年層研修																															①団基礎(前期)																														
7月	初任教育(4/3～9/19)																															③団基礎(前期)																														
8月	初任教育(4/3～9/19)																															②団基礎(前期)																														
9月	初任教育(4/3～9/19)																															9/23代休 救急科(9/23～11/14) 卒業式 退寮日																														
10月	救急科(9/23～11/14)																															①団基礎(後期)																														
11月	救急科(9/23～11/14)																															②団基礎(後期)																														
12月	火災性状体験① 火災性状指導者○① 寮室使用不可11/17～3/31																															火災性状体験② 火災性状指導者○②																														
1月	火災性状体験③ 火災性状指導者○③ 寮室使用不可11/17～3/31																															火災性状体験④ 火災性状指導者○④																														
2月	火災性状体験⑤ 火災性状指導者○⑤ 寮室使用不可11/17～3/31																															火災性状体験⑥ 火災性状指導者○⑥																														
3月	火災性状体験⑦ 火災性状指導者○⑦ 寮室使用不可11/17～3/31																															火災性状体験⑧ 火災性状指導者○⑧																														

5 教育科目及び時間数

1 消防職員に対する教育

(1) 初任教育

期 間・・・令和7年4月3日（木）～9月19日（金）

種 目	教 科 目	項 目	時間数	総時間数
基礎教育	倫理	講話、人権教育	5	5
	法学基礎・消防法	法学基礎	6	16
		消防法	8	
		効果測定	2	
	消防組織制度	地方自治制度	2	9
		消防制度	6	
		効果測定	1	
	サービスと勤務	地方公務員制度	4	17
		公務員倫理	2	
		消防職員の処遇	2	
		職場生活	2	
		個人情報保護	2	
		文書実務	2	
		通信	2	
		効果測定	1	
	理化学	現場活動の物理	4	12
		燃焼理論と化学	4	
		消防活動と電気	3	
		効果測定	1	
実務教育	予防広報	防火防災管理・消防広報	8	9
		効果測定	1	
	危険物	消防危険物	15	23
		危険物査察	7	
		効果測定	1	
	消防用設備	消防用設備	10	11
		効果測定	1	
	査察	消防査察	11	17
		査察シミュレーション	5	
		効果測定	1	
	建築	消防同意・建築法令・規制	9	10
		効果測定	1	
	安全管理	安全管理・火災性状と放水技術	23	24
		効果測定	1	
	特殊災害と保安	酸素欠乏	8	10
		効果測定	2	
	火災防ぎょ	概論・建物・林野・油	6	18
		火災防ぎょの実技	11	
		効果測定	1	
	火災調査	火災調査	7	15
		火災調査実習	7	
		効果測定	1	

種 目	教 科 目	項 目	時間数	総時間数
実務教育	防災	防災対策・広域応援・震災訓練	19	31
		土砂災害	2	
		水防法	2	
		気象と災害	3	
		水防工法	4	
		効果測定	1	
	救急	総論・傷病者接触・J P T E C	7	12
		自動体外式除細動器	4	
		効果測定	1	
	消防機械・ポンプ	消防機械・ポンプ	8	9
		効果測定	1	
実科訓練	訓練礼式	訓練礼式	42	48
		実技効果測定	6	
	消防活動訓練	消防活動概論・消防活動訓練	115	151
		ポンプ操法	25	
		実技効果測定	11	
	消防活動応用訓練	消防活動応用訓練	19	19
	救助訓練	救助概論	33	103
		救助訓練	63	
		実技効果測定	7	
	体育	体育	9	48
		スポーツ障害	3	
		栄養管理	5	
		体育理論・消防メンタル	7	
		体力練成・持久走	14	
		体力測定	10	
	機器取扱訓練	機器取扱訓練・基本結索	19	19
	効果測定	学科効果測定（訓練礼式、消防活動、救助）	3	3
その他	実務研修	所属実務研修	35	35
	選択研修	水上安全法	35	70
		無線通信	14	
		施設実地研修	21	
	行事・その他	人財育成	8	68
		意見発表	2	
		入校式	2	
		卒業式	2	
		実技訓練発表	3	
		防災訓練視察・見学	7	
		救助大会視察・見学	7	
		消防署・空港施設視察・見学	7	
		危険物施設視察・見学	4	
		その他	26	
合 計				812

(2) 専科教育

ア 救急科

期 間・・・令和7年9月23日（火）～11月14日（金）

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
講話	講話	1	1
救急業務及び救急医学の基礎	総論（医療体制・他機関連携）	2	30
	総論（沿革と意義・運用体制）	3	
	総論（関連法規・社会保障・福祉）	1	
	救急業務各論	4	
	医学概論	1	
	解剖生理	14	
	通信指令要領	5	
応急処置の総論	観察と判断	1	55
	応急処置総論	2	
	応急処置各論	49	
	災害と多数傷病者対応	3	
病態別応急処置	外傷	3	29
	診療・放射線・熱傷・電撃傷	4	
	麻痺・頭痛・めまい	3	
	呼吸困難・ショック・意識障害	4	
	腹痛・腰背部痛・喀血・吐血・下血	3	
	胸痛・動悸	2	
	溺水・異物・環境障害	3	
	緊急度と重症度・心肺停止	2	
	メンタルヘルス・P T S D	3	
	中毒	2	
特殊病態別応急処置	小児・新生児	4	15
	産婦人科・周産期	2	
	高齢者・精神障害	4	
	感染症・感染防止	3	
	その他の創傷処置	2	
実習及び行事	シミュレーション実習	46	129
	体位・保温管理	2	
	資器材取扱	2	
	各種搬送法	3	
	多数傷病者発生時対応訓練	6	
	高エネルギー外傷	7	
	救急ヘリ搬送	3	
	学校企画訓練	3	
	病院・所属実務研修	21	
	学科・実技効果測定	15	
	行事・その他	21	
合 計			259

イ 救助科
中 止

ウ 警防科
中 止

エ 予防査察科
期 間・・・令和8年2月12日（木）～27日（金）

【通学のみ】

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
講話	講話・倫理	1	1
消防同意	同意制度・要領	7	7
消防用設備等	消防用設備等の構造機能・査察着眼点	7	7
査察	予防査察行政の現状と課題	4	28
	査察シミュレーション	14	
	火気・電気・少量危険物・指定可燃物施設	3	
	査察実習	7	
人材育成	予防査察指導者養成研修	7	7
危険物規則	規制・査察要領	7	7
違反処理	概要・手続・処理要領	4	4
事例研究	課題研究（討議・発表）	8	8
効果測定	学科効果測定	1	1
行事・その他	行事・その他	7	7
合 計			77

(3) 幹部教育（幹部科）

期 間・・・令和8年1月20日（火）～29日（木）

【通学のみ】

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
講話	講話	1	1
訓練礼式	訓練礼式	1	1
消防財政	消防財政	1	1
人事業務管理	惨事ストレス	2	19
	消防メンタル	7	
	教育技法	4	
	部下の指導・人権	3	
	コミュニケーション・説得技法	3	
安全管理	組織における安全管理体制	4	15
	火災性状・火災防ぎょ	11	
現場指揮	現場指揮	2	2
事例研究	事例研究	4	12
	課題研究（討議・発表）	8	
行事・その他	行事・その他	5	5
合 計			56

(4) 特別教育（ポンプ操法指導員講習）

期 間・・・令和7年10月29日（水）～31日（金）

【宿泊又は通学】

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
訓練礼式	礼式・点検の要領	1	1
操法要領・ポンプ操法	操作実施要領・操作審査要領	4	4
	自動車ポンプ操法・小型ポンプ操法	10	10
効果測定	学科効果測定	2	2
行事・その他	行事・その他	4	4
合 計			21

(5) 短期研修

ア 若年層研修

期 間・・・令和7年6月4日（水）～6月5日（木）

【宿泊又は通学】

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
予防	消防用設備・防火防災管理・実習等	6	6
安全管理	火災性状	1	6.5
	燃焼実験	2	
	安全管理	1	
	火災性状体験訓練	2.5	
行事・その他	行事・その他	1.5	1.5
合 計			14

イ 火災性状指導者研修

期 間・・・A 令和7年10月7日（火）～8日（水）

B 令和7年11月19日（水）

C 令和7年12月

下記①②より選択

①3日（水）午後

②10日（水）午後

D 令和8年1月

下記①～⑤より選択

①7日（水）

②8日（木）

③9日（金）

④14日（水）

⑤15日（木）

教 科 目	項 目	時間数	総時間数
安全管理	火災性状	3	3
指導要領	燃焼実験（指導実践要領）	9	29
	教育技法	4	
	教育見学	4	
	指導実践	10	
その他	オリエンテーション	1	
	効果測定	1	
合 計			32

ウ 火災性状体験研修

実施日・・・第1回 令和7年12月3日（水）
 第2回 令和7年12月10日（水）
 第3回 令和7年12月17日（水）

教科目	項目	時間数	総時間数
安全管理	火災性状	1.5	7
	燃焼実験	1.5	
	体験訓練	4	
合 計			7

2 消防団員に対する教育

(1) 基礎教育

区 分		期 間 等
前 期	第 1 回	令和7年6月21日（土）～22日（日） 西部地区を対象として現地で実施（2日間通学）
	第 2 回	令和7年7月5日（土）～6日（日） 東部地区を対象として現地で実施（2日間通学）
	第 3 回	令和7年7月19日（土）～20日（日） 中央地区を対象として消防学校で実施（2日間通学）
後 期	第 1 回	令和7年10月11日（土）～12日（日） 消防学校で実施（1泊2日宿泊または2日間通学）
	第 2 回	令和7年11月8日（土）～9日（日） 消防学校で実施（1泊2日宿泊または2日間通学）

教科目	項 目	時間数
講話	講話	1
訓練礼式	訓練礼式	4
組織制度	組織制度	1
機器取扱い訓練	資機材取扱い訓練	7
	放水訓練（機関運用訓練）	
火災防ぎょ	火災性状・安全管理	3
防災	震災対策訓練	4
	土砂災害	
	地震対策	
救急救助	救急救助	4
緊急自動車運行管理	緊急自動車運行管理	1
行事・その他	行事・その他	3
合 計		28

(2) 幹部教育

ア 指揮幹部科（現場指揮課程）

期 間・・・令和7年11月22日（土）～23日（日）

【通学のみ】

教 科 目	項 目	時間数
講話	講話	5
現場指揮	現場指揮	
安全管理	安全管理・火災防ぎょ・火災性状	
組織管理	組織管理	
救助・救命訓練	トリアージ・応急手当・搬送法・救助資器材取扱い	4
震災対策訓練	震災対応	2.5
災害情報収集・伝達訓練	災害情報収集・無線交信要領	1
行事・その他	開校式・修了式等	1.5
合 計		14

イ 指揮幹部科（分団指揮課程）

期 間・・・令和8年2月7日（土）～8日（日）

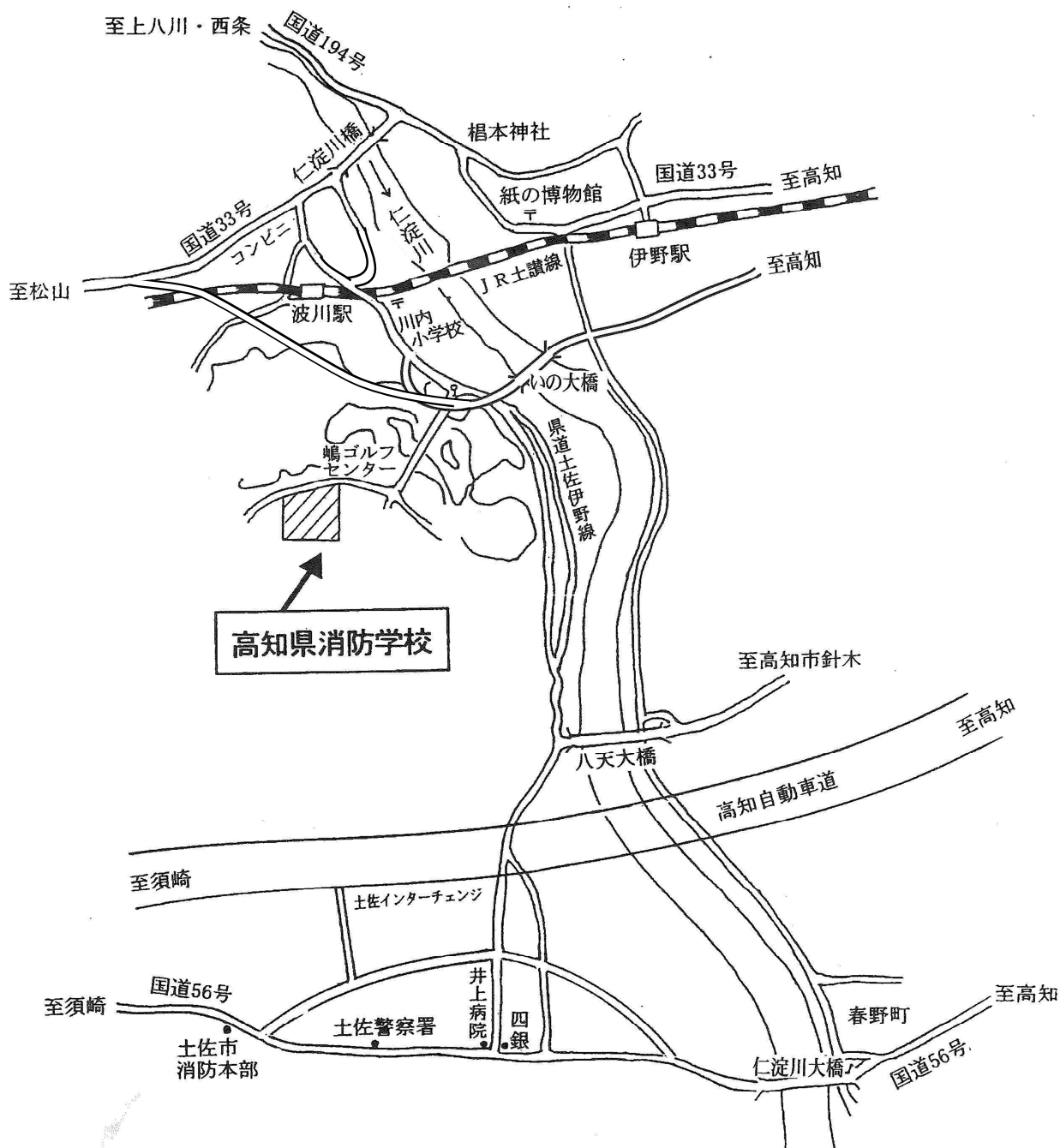
【通学のみ】

教 科 目	項 目	時間数
講話	講話	1
組織制度	組織制度	
防災	土砂災害	2
	地震対策	1
災害対応図上訓練	災害情報伝達訓練	2
事例研究	安全管理	4.5
	課題解決	
	火災事例	
	火災性状（燃焼実験）	
行事・その他	開校式・修了式等	1.5
合 計		12

(3) 特別教育

特別（移動）教育

市町村の実情に応じて適宜カリキュラムを編成する。



高 知 県 消 防 学 校

所在地 〒781-2126 高知県吾川郡いの町大内2030

TEL (088)892-0087

FAX (088)892-0954

学生呼出専用 (088)892-0970

E-mail:010302@ken.pref.kochi.lg.jp